



## 新規口座開設限定

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。  
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら



# 【2022年】暗号資産（仮想通貨）ビットコインの将来性について

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/the-future-of-bitcoin-crypto-currency-2022>

暗号資産（仮想通貨）ビットコインの将来について誰に尋ねるかによって、異なる答えが返ってくることでしょう。アナリストの中には、今後のリスクを懸念している人もいれば、暗号資産が将来的に安定した役割を果たすと確信している人もいます。



楽観主義者が前向きな見通しを維持するのには、それなりの理由があるのでしょうか。コロナのパンデミックや今年経験したあらゆる経済的混乱にもかかわらず、[暗号資産ビットコイン（BTC）](#)の2020年11月中旬の暴騰は予想を上回り、暗号資産は史上最高値に近づいているのです。2020年12月以来、ビットコインの価値は2倍以上になっており、これは長い強気の始まりに過ぎないという見方もあります。

## なぜ2020年11月ビットコインの値上がりが違うか？

多くの専門家は、2020年11月のビットコインの急騰は、暗号資産が過去のすべての記録を破った2017年12月の悪名高いスパイクとはほとんど似ていないと考えています。

2017年冬の伝説的なビットコインのラリーに殺到した人々は、その直後に暗号資産が暴落し、失望しました。しかし、前回の急騰は、暗号資産に対する機関投資家の支援ではなく、ほとんどが個人投資家によって促進されたと多くの人が考えています。個人が現金化すると、ビットコインの価格は急落しました。

ビットコインは機関投資家によって促進され、支持されている。Fidelity Investments、JP Morgan、ペイパルといった大手機関が、暗号資産の領域に足を踏み入れています。フィデリティは独自の暗号資産部門を持ち、JPMは社内デジタルトークンをリリースし、ペイパルは2021年から暗号資産ウォレットを使った支払いを可能にしました。さらに、ポール・チューダー・ジョーンズのようなウォール街の大手ヘッジファンド関係者は、ビットコインを好んでいます。ジョーンズは、差し迫った通貨切り下げに対して、1970年代の金本位制の役割と同様に、ビットコインが私たちを支えるアンカーになるとさえ示唆しています。

他人に買わせることでサポートしているだけでなく、自分たちでも買っています。SquareやGalaxy Digital Holdingsのような大手企業は、実際に数百万ドル相当のビットコインを備蓄しています。機関投資家は通常、すぐに利益を上げるつもりで買うわけではないので、2020年11月の上昇でビットコインの保有者が売りたいくなることは少ないかもしれないことを意味します。

上昇に関するもう一つの良い兆候は、ビットコインの素晴らしい成長に注目している人がほとんどいないようだということです。2017年当時、ビットコインの急騰はヘッドラインや会話を支配していたようで、そのため暗号資産に関心を持たなかった多くの人が一攫千金を狙って投資を始めたのです。この熱狂は持続不可能で、価格が大きく下落する結果となりました。

2020年11月、ビットコインのラリーのニュースは背景に落ち着き、暗号資産に深く関わり、**ブロックチェーン**技術の未来とその普及を純粋に信じている人たちによってのみ語られている状態です。熱狂がないのは、再度の下落がすぐそこにあることを恐れている人がいるからかもしれません。あるいは、この強気相場が本物かもしれません。

多くの人が慎重に行動していますが、2021年以降の暗号資産の未来には楽観的な見方が多くあります。とはいえ、考慮すべきリスクもあります。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） <<<<](#)

# 2022年暗号資産ビットコインの今後

---

暗号資産ビットコインの価格は2021年末から2022年1月にかけて大きく下がっています。**FRB（米連邦準備理事会）のテーパリング加速がビットコイン暴落の原因の1つ**と考えられます。アメリカの量的緩和や政策金利の引き上げによって、ビットコインやイーサリアムなどの暗号資産に売り圧力がかかっていると推測できます。

他の原因としては、2022年ロシアの中央銀行は国内の暗号資産の利用および暗号資産マイニングを禁止すると考えています。暗号資産ビットコインのマイニング量の多い国として、ロシアは今回の中央銀行の発表を受け、国内のマイニング事業は撤退を余儀なくされるでしょう。

2022年からビットコイン価格が暴落からスタートし、今後のビットコインの値動きに不安を覚える方も多いと思いますが、**ビットコインの価格が再度上昇する可能性は大いにあります**。現在、ビットコインの需要が高まっている中、ビットコインの半減期を控えていて、ライトニングネットワーク実装も進んでいます。またはビットコインETFの普及が期待されていることなどからみると、ビットコインの値上がりが期待できますでしょう。

## 暗号資産ビットコインのリスク

---

暗号資産ビットコインの大きなリスクの1つは、非常に不安定であることです。短期間で上昇し、数週間、数日、数時間のうちに下落することもあります。さらに、マイナー（採掘者）が過半数を支配し、取引を妨害する51%攻撃のようなセキュリティ上の脅威が発生する可能性があります。

しかし、最近の機関投資家の関心の高まりや、ペイパルのような企業が世界中の人々にとってビットコインの購入をより身近なものにしていることは、暗号通貨が我々の金融の未来においてより確実に定着しつつあることを意味しています。

### 【他の記事】

[暗号資産EOS（イオス）とは？初心者向けEOSの特徴を解説](#)

[教えて！仮想通貨のアービトラージ](#)

[注目の「ソラナ基盤NFTマーケットプレイス」3選を紹介！](#)

[メタバースでお金を稼ぐって本当？今さら聞けないメタバース！](#)

[【最新】2022年ドージコインの買い方 | 暗号資産取引ならBTCC](#)

[暗号資産レバレッジ取引とは？おすすめ取引所も紹介！](#)

▶ **仮想通貨の将来性・買い方など**

[仮想通貨ファイルコイン\(FIL\)は怪しい？将来性や買い方・おすすめ取引所を徹底解説](#)

[仮想通貨BSV\(ビットコインSV\)の将来性は？今後予想や買い方など徹底解説](#)

[エイプコイン\(ApeCoin/APE\)の将来性は？今後予想や買い方など徹底解説](#)

[ユニスワップ\(Uniswap/UNI\)とは | 仕組み・特徴・将来性](#)

[暗号資産NEAR\(NEAR Protocol\)とは？特徴と用途を解説 | 用語集](#)